

はぐくみ校 事例紹介

「カチカチ農楽が〜る」の活動に学ぶ 佐賀大生の将来キャリア支援



佐賀大学
(第11期)

【プロジェクトの内容】

さが農業女子カチカチ農楽が〜るメンバーによる学生への講義やインターンシップの受け入れ、マルシェのコラボ企画など、協働した活動を通じて、佐賀大学農学部生が将来の就農に対する明確なビジョンをもつこと。

【キックオフ】

■ アグリキャリアデザイン講義（2024年7月22日）

➤カチカチ農楽が〜るメンバーが学生150人に講義



県鳥のかかさぎ
「カチカチ」という独特のさえずり声
が特徴。別称、カチガラス。

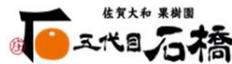


黒木貴子（黒木農園）

- プロフィール
1992年 結婚
●●年 農業女子プロジェクト参加
2016年 「カチカチ農楽が〜る」 初代会長
2023年 白石町女性れんこん農家5人で「美運（みれん）in しらいし」を立ち上げ（佐賀県コスメティック構想室主催スタートアップ支援プログラムに参加）
- 佐大農学部生へメッセージ
農業をするなら佐賀県という思いをもって自分のやりたい事や夢を口に出している方々と一緒にやることで視野を広げながら農業のイメージを変えてほしい。

【黒木農園の経営概要】

- 経営部門：露地野菜経営（レンコン）、農産加工品の生産・販売
- 経営面積：ヘクタール
- 出荷市場：2011年から東京・太田市場ほか、ネット販売
- 経営の強み：
 - 2012年に白石町レンコン生産者メンバー9人（現在11人）で黒木農園グループ設立・運営
 - 生産はもちろん、商談会、イベント販売、メディア取材等多岐
 - 「れんこん群」「れんこんパウダー」「れんこん天ぷら」など加工品開発に積極的に取り組む



石橋有美（株式会社石橋果樹園 取締役）

- プロフィール
2007年 結婚
2009年 長男誕生
2011年 長女誕生
2013年 農作業を始める
2020年 事業の法人化
株）石橋果樹園（同年、JA共済を辞め独自販路を開拓）

【株式会社石橋果樹園の経営概要】

- 経営部門：果樹経営（露地温州みかん、桃、すもも、柿、シャインマスカット）
- 栽培面積：10.5ヘクタール
- 雇用（従業員）：年雇2名、臨時雇延べ700名
- 出荷市場：国内5市場と海外輸出（香港、シンガポール、ベトナム、アメリカ、マレーシア、カナダ）
- 経営の強み：高品質の多品目果樹生産、生産・加工・販売の多角経営、海外市場展開

- 佐大農学部生へメッセージ
一貫きりの人生、思い描いた夢に向かって一歩ずつ前進して下さい。自分の未来は自分で切り拓く。次代を担う皆さんの個性が輝いて来たい未来に開花することを願っています。



株式会社 明日香園

向井明日香（株式会社明日香園 代表取締役社長）

- プロフィール
1998年 花屋に就職
2000年 明日香園（実家）で就農
2003年 結婚
2006年 法人化（株式会社明日香園設立）
2021年 代表取締役社長 就任
子供4人。長男は佐大理工学部生

【株式会社明日香園の経営概要】

- 経営部門：施設花き経営
- 栽培面積：91アール（年3回転）
- 年間生産量：オリエンタルユリ約18万本、ケイトウ約40万本
- 出荷市場：北海道から九州まで全国の花市場
- 経営の強み：オリジナル品種「ボンベイケイトウ」の出荷量日本一



光吉利絵（光吉農産 マネージャー）

- プロフィール
1990年 結婚
1991年 長男誕生
1992年 農作業を開始（義父の地界を契機）
1994年 次男誕生
1996年 三男誕生
2008年 夫が脱サラし専業農家（経営移譲）
2018年 乾燥調製施設を導入（米のJA出荷を辞め直販を開始）
2019年 独自ブランド「実り咲かす」販売開始

【光吉農産の経営概要】

- 経営部門：普通作（米、小麦、大麦）、大豆、唐辛子、飼料用稲わら
- 経営面積：25ヘクタール
- 従業員：5名
- 販売：米の直売（2018〜）オリジナルブランド「実り咲かす」
- 経営の強み：明治から4代続く米農家。5代目になる息子達と一緒に農業に従事
- モットー：こだわりを大切に安心して美味しいお米を提供

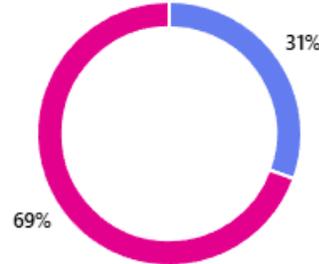
【キックオフ】

■ アグリキャリアデザイン講義（2024年7月22日）

➤ 聴講した学生の感想（アンケート調査結果、一部）

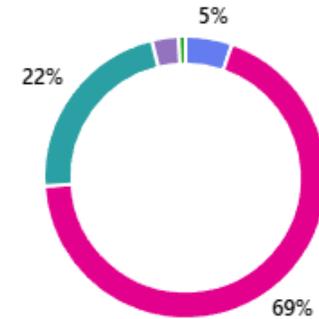
1. あなたの性別を回答してください。（N=131）

● 男性	40
● 女性	91
● 回答しない	0



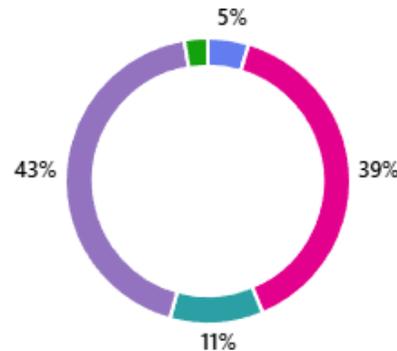
2. 「カチカチ農楽が〜る」メンバーの方とどの程度交流したいと思いましたか。（N=131）

● 継続的に交流したいと思う	7
● 機会があれば交流したいと思う	90
● どちらでもない	29
● あまり交流したいと思わない	4
● まったく交流したいと思わない	1



3. 「カチカチ農楽が〜る」メンバーの方との交流を希望する場合、どの活動に関心がありますか。（複数回答）

● 「カチカチ農楽が〜る」の学生メンバーになりたい	7
● 「カチカチ農楽が〜る」が主催したり出品したりするマルシェ等の企画や運営を手伝いたい	59
● 「カチカチ農楽が〜る」メンバーの農業経営でインターンシップを試みたい	16
● 「カチカチ農楽が〜る」メンバーの農業経営でアルバイトを試みたい	65
● その他	4



【キックオフ】

■ プレスリリース

令和6年7月23日



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
Tel : 0952-28-8153 Fax : 0952-28-8921

PRESS RELEASE

農学部が「未来の農業女子育成チーム“はぐくみ”」のパートナー校として始動

【概要】
佐賀大学農学部は、農林水産省が推進する農業女子プロジェクト（※）の取組みの一つである未来の農業女子育成「チーム“はぐくみ”」のパートナー校として活動を開始することになりました。「チーム“はぐくみ”」とは、全国の農業女子メンバー、未来の農業女子候補（女子大生）、教育機関であるパートナー校が相互に協力し、「若い女性の職業選択時に『農業』を加える」ことを目的とする活動です（https://nougyoushisei.maff.go.jp/team_hagukumi/）。すでに、全国の国私立大学7校と高等学校1校が「チーム“はぐくみ”」のパートナー校として活動中であり、佐賀大学農学部の参加は全体で9校目、国立大学では山形大学に続いて2校目となります（2024年7月16日現在）。

○活動の目的
佐賀大学農学部では、主に佐賀県内の女性農業者グループである、『さが農業女子「カチカチ農楽が〜る」』（以下、「カチカチ農楽が〜る」という。）との協働を通じた活動を進めます。具体的には、「カチカチ農楽が〜る」メンバーによる農学部専門科目「アグリキャリアデザイン」（1年生対象）での招待講義を皮切りに、学生と「カチカチ農楽が〜る」メンバーとの継続的な座談会や、合同でのマルシェなど地域イベントの開催（随時）を企画します。これら取り組みから得られる成果を通じて、農学部生（特に女子学生）が地域の農業と農村の諸問題解決に主体的に関わり、将来の就業に向けたビジョンを描けるようにすることが目的です。

○期待される成果
①佐賀大学生が県内農業の実情をよく理解し、地域農業の活性化に向けて主体的に関わる機会が提供されます。
②特に女子学生の中から自ら就業を目指す人材を発掘し、「カチカチ農楽が〜る」メンバーとの親密な交流を通じて、農畜産物の生産技術、加工や販売管理、経営管理能力の向上など実地で学ぶ機会を増やすことができます。
③佐賀大学生が「かちかち農楽が〜る」メンバーとして加わることで、組織の構成員と活動範囲の拡大につながり、その活動の持続性が図られます。

2

【協働：はじめの一步】

■マルシェ出店（2024年11月30日～12月1日）

➤学生が カチカチ農楽が～るメンバーの農産物を販売



【今後の行動予定】

■ 2025年1月以降～

- 学生によるカチカチ農楽が～るメンバーの農場視察会
- 学生とメンバーの意見交換会（交流会）の開催
- インターンシップやアルバイトの実施に向けた検討開始

など

